

製品名: IFN- γ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12403**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	17kDa

抗原情報

遺伝子名	IFNG
別名	IFNG; Interferon gamma; IFN-gamma; Immune interferon
遺伝子 ID	3458.0
SwissProt ID	P01579
免疫原	抗血清はヒトインターフェロンガンマ由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 20-69

背景

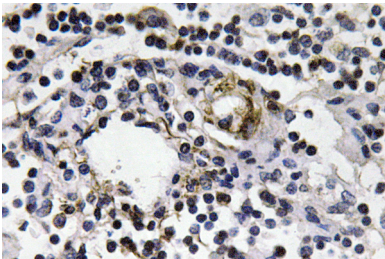
この遺伝子は、II型インターフェロンクラスのメンバーである可溶性サイトカインをコードします。コードされているタンパク質は、自然免疫系と獲得免疫系の両方の細胞によって分泌されます。活性タンパク質はホモ二量体であり、ウイルスや微生物の感染に対す

る細胞応答を誘発するインターフェロン γ 受容体に結合します。この遺伝子の変異は、ウイルス、細菌、寄生虫感染、およびいくつかの自己免疫疾患に対する感受性の増加と関連しています。[RefSeq 提供、2015 年 12 月]、疾患: 白人では、IFNG の遺伝的変異が再生不良性貧血 (AA) のリスクと関連しています[MIM: 609135]。AA は、循環血球の減少が骨髄の幹細胞プールの損傷に起因するまれな疾患です。ほとんどの患者では、幹細胞病変は自己免疫攻撃によって引き起こされます。内因性または外因性、そして多くの場合未知の抗原刺激によって活性化された T リンパ球は、IFN- γ を含むサイトカインを分泌し、造血を抑制することができます。機能: 特定の抗原またはミトジェンによって活性化されたリンパ球によって産生されます。IFN- γ は抗ウイルス活性に加えて、重要な免疫調節機能も有しています。マクロファージの強力な活性化因子であり、形質転換細胞に対する抗増殖作用を有し、I 型インターフェロンの抗ウイルス作用および抗腫瘍作用を増強することができます。オンライン情報: インターフェロン γ のエントリー, 医薬品: Actimmune (Genentech 社) の製品名で入手可能です。慢性肉芽腫性疾患 (CGD) に伴う重篤な感染症の頻度と重症度を軽減するために使用されます。PTM: タンパク質分解処理により C 末端の不均一性が生じ、タンパク質は Gly-150、Met-157、または Gly-161 で交互に終了します。類似性: II 型 (またはガンマ) インターフェロン ファミリーに属します。サブユニット: ホモ二量体。組織特異性: 主に活性化 T リンパ球から放出されます。

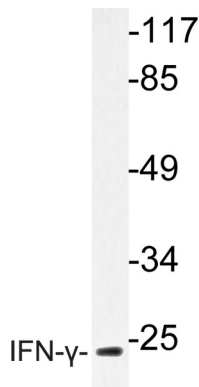
研究分野

プロテアソーム、サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、オートファジーの調節、TGF- β 、Jak_STAT、ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害、T 細胞受容体、I 型糖尿病、全身性エリテマトーデス、同種移植片拒絶反応、移植片対宿主病、

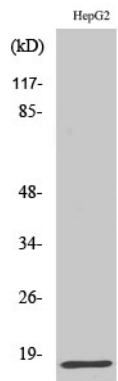
画像データ



パラフィン包埋ヒトリンパ節組織における IFN- γ 抗体の免疫組織化学分析。



IFN- γ 抗体を使用した HepG2 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した IFN- γ ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析